

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

スマート&テクノロジーで歴史に残る社会システムを創る。2028年創業100年までにスマートシティの創造を目指す

営業利益
1,144百万円

スマートベニュー営業
1,294百万円

モビリティMRR
75百万円

2 中長期の経営戦略

1. スマートベニュー展開

神戸でのスマートシティモデル実装を進め、全国へ展開。スタジアム・アリーナを軸にデータ利活用でまち全体をマーケティング

3. 既存事業のポートフォリオ入れ替え

ツール提供型SaaS事業からの転換。デジタルガバメント事業一部譲渡で、付加価値の高い領域へシフト

2. モビリティ事業強化

建設機械・レンタカー無人化・省人化など2024年問題への対応。テレマティクスサービス提供で法人課題を解決

4. アライアンス戦略推進

スマートシティモデル全国展開やモビリティ事業拡大で、強みを持つ他社との連携を推進

3 対処すべき課題

① 高品質クラウドサービス提供

- ・技術力向上によるサイバー攻撃・大量アクセス対応
- ・システム障害時・自然災害時の安定運営体制構築

② 安定的な収益基盤確立

- ・スマートベニューアリーナ6期連続営業赤字の解消
- ・3年中期計画達成とポートフォリオ入れ替え完了が必須

③ イノベーション創出と経営課題

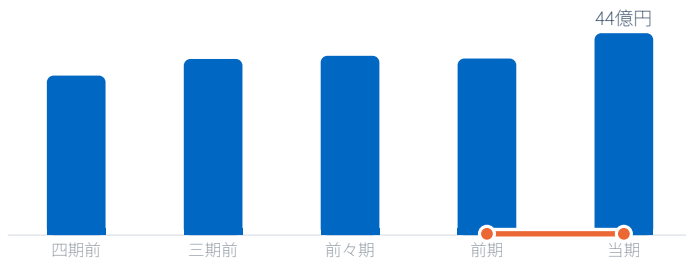
- ・CASE時代のモビリティ・サービス新規創造
- ・GLION ARENA KOBEを軸としたデータ利活用
- ・フィジカルとデジタル融合のインフラ事業化

面接で使えるポイント

- ・スマートベニュー神戸での実装例から、デジタルとコミュニティの力でまちづくり主体者として社会課題を解決する事業に関心がある
- ・2028年営業利益1,144百万円達成に向け、モビリティ無人化やMRR構造への転換で安定収益基盤を構築する戦略に共感でき…
- ・CASE時代の新モビリティや生成AI活用など、時代転換点での革新的サービス創造に挑戦できる環境が魅力

証券コード 9417

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
44億円営業利益率
▲10.1%財務健康度
35点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 32.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
459万円

情報・通信業内 574位/592社

平均年齢
35.0歳

情報・通信業内 468位/593社

平均勤続
4.0年

情報・通信業内 449位/593社

女性管理職
30.8%

情報・通信業内 45位/373社

男性育休
42.9%

情報・通信業内 270位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)スマートバリュー【9417】：決算情報

